

**Sony Music Foundation 東日本大震災 復興支援プロジェクト**  
**仙台フィル × 読響 スペシャル合同オーケストラによる**  
**小・中・高校生のための「第九」チャリティ・コンサート**

**【出演者プロフィール】**

**●山田和樹 Kazuki Yamada (指揮)**



2009年第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、パリ管弦楽団を指揮、破竹の勢いで活躍の場を広げている。2016/2017シーズンから、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督に就任。スイス・ロマンド管弦楽団首席客演指揮者、日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、横浜シンフォニエッタ音楽監督などを務めている。仙台フィルハーモニー管弦楽団との縁も深く、2012年から2017年までミュージックパートナーを務めた。

2012年、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル

基金賞、文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞受賞。2016年、「柴田南雄生誕100年・没後20年 記念演奏会」が文化庁芸術祭大賞、2017年には、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

これまでに、ドレスデン国立歌劇場管、パリ管、フィルハーモニア管、ベルリン放送響、バーミンガム市響、サンクトペテルブルグ・フィル、チェコ・フィルなど各地の主要オーケストラでの客演を重ねている。

**●仙台フィルハーモニー管弦楽団 Sendai Philharmonic Orchestra**



1973年創立。1983年芥川也寸志が音楽総監督に就任して現在の礎を築き、外山雄三（前音楽監督）が飛躍的に技術を向上させ、パスカル・ヴェロ（現常任指揮者）がアンサンブルにさらに磨きをかけている。

東日本大震災では数ヶ月にわたり活動を中止せざる得ない状態になったが、音楽を被災者のもとに届ける活動を展開し、内外に大きな反響を呼んだ。

本拠地日立システムズホール仙台コンサートホールでの「定期演奏会」、さまざまなジャンルとの共演による「サマーフェスティバル」、宮城県内各地で開催される「マイタウンコンサート」、日本人作曲家を紹介する「日本の現代作曲家」など

多彩な公演を繰り広げているほか、文化庁による全国小中学校訪問など年間100回を超える活動を展開している。

## ●読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra



1962年、日本のクラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共に演奏を重ねている。現在、常任指揮者をシルヴァン・カンブルランが務め、東京のサンリーホールや東京芸術劇場などで充実した内容で演奏会を多数開催。また、小中学校や病院での演奏などの社会貢献活動を通じ、音楽文化のすそ野拡大に地道な努力を続けている。

## ●東京混声合唱団 The Philharmonic Chorus of Tokyo



1956年東京藝術大学声楽科の卒業生により創設された日本を代表するプロ合唱団。東京、大阪での定期演奏会、各地での特別演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室等、年間200回の公演のほか、レコーディングやテレビ、ラジオへの出演がある。パートリーは作曲委嘱活動で生まれた212曲を数える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品までと全合唱分野を網羅している。音楽監督は山田和樹。

<http://toukon1956.com>

## ●武蔵野音楽大学合唱団 Tokyo Musashino Academia Musicae Chorus



武蔵野音楽大学合唱団は合唱授業の一つとして、声楽学科 3 年次生を中心に編成されている。本学管弦楽団との共演により、合唱の大曲を定期演奏会で発表してきた他、読売日本交響楽団との 30 数年にわたるベートーヴェン「第九」の共演をはじめ、G.ロジェストヴェンスキー、K.マズア、L.マゼール、G.シノーポリ、E.インバル、V.アシュケナージらの指揮による読売日本交響楽団、東京都交響楽団などのオーケストラとの共演も行い、数々の名演を残している。

## ●澤江衣里 Eri Sawae (ソプラノ)



国立音楽大学を首席卒業。東京藝術大学大学院修士課程及び博士後期課程修了。英国人作曲家ロジャー・クイルターの作品を研究、英語と音楽の関係・結び付きに関する論文により博士号（音楽）取得。バッハ・コレギウム・ジャパン（BCJ）の演奏会及び録音にソリスト及びアンサンブルメンバーとして参加。第79回日本音楽コンクール第2位。第11回東京音楽コンクール第2位（最高位）。佐藤峰子、永井和子の両氏に師事。

## ●鳥木弥生 Yayoi Toriki (メゾ・ソプラノ)



石川県出身。武蔵野音楽大学卒業。フィレンツェで研鑽を積み、平成19年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院オペラ芸術科のディプロマを最高位で取得。第42回「ヴエルディの声」など多くのコンクールで入賞。2002年フィレンツェ歌劇場「ジャンニ・スキッキ」ツィータでデビュー。以降、「カルメン」「椿姫」「ランスへの旅」「リゴレット」「ラ・ジョコンダ」「タンクレーディ」「セビリヤの理髪師」「仮面舞踏会」「蝶々夫人」など、国内外様々な役柄で出演し、高い評価を得ている。2015年度岩城宏之音楽賞受賞。藤原歌劇団団員。

## ●藤田卓也 Takuya Fujita (テノール)



山口県出身。島根大学卒業、同大学院修了後、渡欧。ドヴォルザーク国際声楽コンクール第2位受賞。スロヴァキアの国立歌劇場において主役を務める他、ウィーン室内歌劇場、シェーンブルン宮殿歌劇場でのオペラ公演、またチェコやポーランドで国際音楽祭、ミラノのダル・ヴェルメ劇場にてジルヴェスター・コンサート等に出演。2015年「仮面舞踏会」リッカルドで藤原歌劇団に初登場し、同団「ドン・パスクワーレ」「カルメン」で好評を博すほか、各地のオペラやコンサートで広く活躍している。2008年山口県芸術文化振興奨励賞、2013年エネルギー音楽賞を受賞。藤原歌劇団団員。

## ●小森輝彦 Teruhiko Komori (バリトン)



東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁オペラ研修所、ベルリン芸術大学で学ぶ。12シーズンに渡りアルテンブルク・ゲラ市立劇場専属第一バリトンとして活躍。日本人として初めてドイツ宮廷歌手の称号を授与された。二期会『マクベス』『ダナエの愛』、日生劇場『リア』、新国立劇場『さまよえるオランダ人』（演奏会形式）、神奈川県民ホール『金閣寺』溝口等主演。コンサートでも「ドイツ・レクイエム」「千人の交響曲」等で好評を博している。2017年11月二期会『こうもり』アイゼンシュタインで出演予定。東京音楽大学教授。二期会会員。